

療育研修会

茨城県 支部

◆テーマ 福山型筋ジストロフィーと遺伝子登録について 講師 石原 傳幸

ディシャンヌ型筋ジストロフィーの遺伝子登録と治験の開始に後続して、

福山型筋ジストロフィーの遺伝子登録が始まり、遺伝子治療への道が開きつつ

あることの話があった。茨城県支部内の7～8名の福山型筋ジストロフィー患者

・家族にまず福山型筋ジストロフィーの病態と治療の方向性についての解説が

あった。また、今回初めて、病型別となる福山型筋ジストロフィー患者・家族の

集会となったことで会員同士の良い交流の場になったことは成果と思う。

◆テーマ 筋ジストロフィー患者のリハビリについて 講師 石井 正二

今回も昨年に引き続き、筋ジストロフィー患者への筋力維持のためのマッサー、

ジの有効性とその手法について学んだ。

あらゆる筋力の維持を図ることは筋ジストロフィー患者にとって日常の生き甲斐

にもつながる重要なことであることを再認識する。

療育研修会実施状況

茨城支部

参加数 16

テーマ ◆福山型筋ジスと遺伝子登録
講師 医師 石原 傳幸

◆筋ジス患者のリハビリについて
理学療法士 石井 正二

実施場所 茨城県総合福祉会館



実施を終えて(感想等)

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

今回は初めての試みで茨城県支部の福山型筋ジストロフィー患者家族がほぼ全員揃って受講する「病型別」集会となった。講習が終了した後も惜しむように会員同士が講師の先生や会員同士の話し合いの場が続いたことは、このような集会を待ち望んでいたことの表れであるように思われた。

また福山型の遺伝子登録はすでにほぼ全員が済んでいることも強い意識の表と言えよう。

・筋肉硬縮防止のリハビリの有効性と重要性についても実技も含めて講義を受け、さらなる療養生活上の糧となりうると、感じた。